

2018年度(第3期)

事業報告書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

株式会社銚子スポーツタウン

事業報告書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

I. 営業の概況

1. 銚子スポーツタウン関連施設の整備状況、営業の経過並びに成果及び今後の課題

(1) 銚子スポーツタウン関連施設の整備状況

食堂・浴場棟の整備状況、厨房の冷凍冷蔵庫が小さい為、屋外に冷凍冷蔵庫を設置しました。事務室は社員が増え狭い為、宿直室を事務室に変更し、宿直室を体育館に移動しました。夜間の管理の為に、インターフォンを設置しました。

宿泊棟の整備状況、建築後大きな変更はありません。長期合宿のお客様より、室内の物干し竿の増加の希望があり、各部屋に1本追加し各部屋2本の物干し竿を設置しました。各宿泊部屋に時計を設置しました。アンケートを実施して、お客様の要望に出来るだけ応えられるよう努めています。

グラウンドの整備状況、野球場のブルペンに、ピッチャーとキャッチャーの上部に屋根を設置しました。集中して投球練習が出来る為、好評を得ています。野球場のナイター設備を2基設置しました。ホームベース周辺ですが、夜間練習が出来ます。野球場の内野ネットフェンス下部のコンクリート面にラバー工事を施工し、安全に留意しています。

体育館の整備状況、1階の多目的フロアの床面に敷いてあったウレタンマットを外し、ダンス等の用途に応える為に、塩ビシートに張り替えました。3階の窓にカーテンを設置しました。バスケットボールやバレーボールの競技者からの要望に応じています。

食堂・浴場棟と体育館、宿泊棟の導線に人工芝を敷き、室内履きでの移動箇所を明示しました。

(2) 営業の経過及び成果状況

4月から6月、4月初めに、170名で2泊のバスケットボールチームの合同合宿がありました。鹿島工業地帯の工場定期研修の宿泊が多く目標数を上回りました。

7月から9月、夏休み期間の宿泊が目標に届きませんでした。学校への直接営業を主にしていました。7月は小中学生、8月は高校生、9月は大学生と時期により、客層が違い、その旅行代理店への営業が弱かったことが原因です。

10月から12月、10月6日から8日にツール・ド・ちばのメイン会場となり、その参加者と関係者が宿泊をしました。11月10日から11日、中学生硬式野球交流戦を開催して、宿泊に結び付けました。11月23日から25日、ソウル市中学生選抜チームの宿泊を誘致し、地元チームと交流試合をして宿泊に結び付けました。12月末、波崎でのサッカー大会合宿の宿泊者が多くなりました。

1月から3月、1月は合宿の閑散期となるので、今後は合宿以外のニーズを作る必要があります。2月下旬から3月は、大学生硬式野球の長期キャンプを獲得することが出来ました。

ア. 売上状況

宿泊収入	¥37,580,582-
食事収入	¥25,936,984-
施設利用収入	¥ 5,919,545-
売店収入	¥ 323,241-
キャンセル料	¥ 1,132,054-

合計 ¥70,892,406-

イ. 営業成績及び財産の状況の推移

単位：円

区分	第1期 2017年1月 ～2017年3月	第2期 2017年4月 ～2018年3月	第3期 2018年4月 ～2019年3月
総売上高	0	1,264,204	70,892,406
経常利益・経常損失	-419,463	-27,031,923	-56,792,197
特別損益	30	28,297,517	44,375,005
税引前純利益・純損失	-419,433	1,265,594	-12,417,192
当期純利益・純損失	-432,733	941,394	-12,497,192
1株当たりの 当期純利益・純損失	-4,321	9,413円94銭	-124,971円92銭
総資産	5,047,634	237,556,661	231,111,316
純資産	4,567,267	5,508,661	-6,988,531

(3) 今後会社に対処すべき課題

開業1年で、まだまだ知名度が低いです。直接営業と旅行代理店への営業活動を継続し認知度を高めます。

夏休み期間の宿泊数を出来るだけ多く獲得する為に、リピート客を増やします。その為に顧客満足度の充実を図ります。また、宿泊数の大きな団体の予約が出来る様に、予約管理を工夫し、社員間の情報共有をしっかりとします。

スポーツ施設の利用者数と宿泊数が同一である為、1つの競技団体に出来るだけ多くの宿泊数を獲得することに留意します。また、様々な競技に対応できるように、競技にあった用具などの備品を調達し、宿泊数増加に繋がります。

閑散期対策として、特色ある研修が出来るプランの作成と施設を整備します。

Ⅱ. 会社の状況

1. 主要な事業内容

- ① 宿泊施設及びスポーツ施設の経営
- ② スポーツイベントの企画、運営、管理及び実施
- ③ スポーツ教室の経営
- ④ スポーツ及び健康商品の開発、販売及びレンタル
- ⑤ 観光案内に関する業務
- ⑥ 観光用土産品の販売業務
- ⑦ 一般旅行業、国内旅行業及び旅行代理店業
- ⑧ スポーツツーリズム推進による地域活性化に資する事業
- ⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 株式の状況

(1)発行株式数及び株主数

発行する株式の総数	100 株
発行済みの株式総数	100 株
株主数	13 名

(2)大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数	議決権比率	所有株式数	議決権比率
銚子市	50 株	50.00%	0 株	0%
小倉和俊	32 株	32.00%	0 株	0%
吉原正巳	2 株	2.00%	0 株	0%
高木康之	2 株	2.00%	0 株	0%
上総泰茂	2 株	2.00%	0 株	0%
谷口博則	2 株	2.00%	0 株	0%
大里忠弘	2 株	2.00%	0 株	0%
松本恭一	2 株	2.00%	0 株	0%
滝田靖	2 株	2.00%	0 株	0%
鈴木唯修	1 株	1.00%	0 株	0%
石毛伸一	1 株	1.00%	0 株	0%
澤田武男	1 株	1.00%	0 株	0%
高根由充	1 株	1.00%	0 株	0%

3. 従業員の状況

在籍従業員 9 名(うちパート 3 名)

4. 取締役及び監査役

2019年3月31日現在

会社における地位及び担当又は主な職業		
代表取締役	小倉和俊	和光設備(株)代表取締役
代表取締役	滝田靖	支配人 常勤
取締役	大里忠弘	銚子通運(株)代表取締役
取締役	松本恭一	銚子倉庫(株)代表取締役
取締役	高根由充	(株)エクポージャラボ代表取締役
監査役	吉原正巳	(株)銚子タクシー代表取締役
監査役	島田重信	銚子市副市長

決 算 報 告 書

(第 3 期)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

千葉県銚子市東芝町1番地の7

事業報告書

第3期

株式会社銚子スポーツタウン

当期(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)の会社事業の概要を下記のとおり報告いたします。

I 計算書類

貸借対照表	別紙の通り
損益計算書	同上
株主資本等変動計算書	同上

II 法律関係事項

- 平成30年5月22日第2回定時株主総会を本店において開催し、下記のとおり決議いたしました。

議案 第2期事業報告書の内容報告の件、並びに貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書承認の件
(原案通り承認可決)

III 株式

当期末の株式の状況は下記のとおりであります。

(1) 発行可能株式総数	1,000株
(2) 発行済株式の総数	100株
(3) 資本金の額	5,000,000円
(4) 株主数	13名

IV 役員

当期末における役員は下記のとおりであります。

代表取締役	小倉和俊
代表取締役	滝田靖
取締役	高根由充
取締役	大里忠弘
取締役	松本恭一
監査役	吉原正巳
監査役	島田重信

V 期末後の報告事項

令和元年6月10日第3回定時株主総会を開催し、計算書類が承認可決されました。

貸借対照表

平成31年 3月31日 現在

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	32,434,538	【流動負債】	6,726,631
現 金	168,737	買 掛 金	1,599,494
普 通 預 金	23,948,695	短 期 借 入 金	3,000
原 材 料	326,721	前 受 金	399,224
貯 蔵 品	150,744	預 り 金	142,054
前 払 費 用	863,107	未 払 費 用	4,502,859
未 収 入 金	6,970,544	未 払 法 人 税 等	80,000
仮 払 金	5,990	【固定負債】	231,373,216
【固定資産】	197,804,175	長 期 借 入 金	175,244,000
【有形固定資産】	194,053,985	長 期 未 払 金	3,456,000
建 物	99,779,171	リ ー ス 債 務	2,673,216
建 物 附 属 設 備	42,384,129	社 債	50,000,000
構 築 物	24,135,006	負 債 の 部 合 計	238,099,847
機 械 装 置	14,988,996	純 資 産 の 部	
器 具 備 品	6,105,572	【株主資本】	-6,988,531
一 括 償 却 資 産	2,905,195	資 本 金	5,000,000
リ ー ス 資 産	2,647,836	利 益 剰 余 金	-11,988,531
建 設 仮 勘 定	1,108,080	そ の 他 利 益 剰 余 金	-11,988,531
【無形固定資産】	3,710,190	繰 越 利 益 剰 余 金	-11,988,531
借 地 権	3,299,790	(うち当期純損失金額)	12,497,192
ソ フ ト ウ ェ ア	410,400		
【投資その他の資産】	40,000	純 資 産 の 部 合 計	-6,988,531
出 資 金	40,000		
【繰延資産】	872,603	負 債 及 び 純 資 産 合 計	231,111,316
創 立 費	305,951		
開 業 費	566,652		
資 産 の 部 合 計	231,111,316		

損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

科 目	金 額
【売上高】	
宿 泊 収 入	37,580,582
食 事 収 入	25,936,984
施 設 利 用 収 入	5,919,545
売 店 収 入	323,241
キ ャ ン セ ル 料	1,132,054
売 上 高 合 計	70,892,406
売 上 総 利 益 金 額	70,892,406
【販売費及び一般管理費】	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計	123,428,575
営 業 損 失 金 額	52,536,169
【営業外収益】	
受 取 利 息	306
受 取 配 当 金	350
雑 収 入	2,279,916
営 業 外 収 益 合 計	2,280,572
【営業外費用】	
支 払 利 息	3,508,715
社 債 利 息	3,000,000
雑 損 失	27,885
営 業 外 費 用 合 計	6,536,600
経 常 損 失 金 額	56,792,197
【特別利益】	
受 取 保 険 金	19,600,000
補 助 金 収 入	24,775,005
特 別 利 益 合 計	44,375,005
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額	12,417,192
法 人 税 等	80,000
当 期 純 損 失 金 額	12,497,192

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

科 目				金 額	
役	員	報	酬	3,700,000	
給	料	手	当	29,733,027	
賃			金	254,932	
法	定	福	利	4,195,324	
福	利	厚	生	179,850	
広	告	宣	伝	6,133,632	
車	輛	燃	料	51,407	
燃		料	費	92,623	
旅	費	交	通	1,642,382	
通		信	費	377,823	
水	道	光	熱	5,931,698	
消	耗	品	費	10,143,092	
事	務	用	消	235,819	
修		繕	費	3,028,890	
保		險	料	1,137,095	
租	税	公	課	7,203,907	
交	際	接	待	753,866	
会		議	費	15,218	
減	価	償	却	18,261,850	
り	一	ス	料	253,480	
支	払	手	数	5,624,402	
外		注	費	12,510,044	
食		材	費	10,738,751	
諸		会	費	217,900	
寄		附	金	80,000	
定	期	保	守	381,672	
賃		借	料	134,774	
雑			費	415,117	
販売費及び一般管理費合計					123,428,575

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

株式会社 銚子スポーツタウン

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高	5,000,000
	当期末残高	5,000,000
利 益 剰 余 金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	508,661
	当期変動額	当期純利益金額
	当期末残高	-12,497,192
		-11,988,531
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高	508,661
	当期変動額	-12,497,192
	当期末残高	-11,988,531
株 主 資 本 合 計	当期首残高	5,508,661
	当期変動額	-12,497,192
	当期末残高	-6,988,531
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高	5,508,661
	当期変動額	-12,497,192
	当期末残高	-6,988,531

注 記 表

株式会社 銚子スポーツタウン

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価方法 … 最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

平成28年4月1日以降に取得した建物、建物附属設備、構築物 … 定額法

リース資産 … リース期間定額法

上記以外の資産 … 定率法

無形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

税込経理方式

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 100株

一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	-69,885 円 31 銭
一株当たり当期純利益金額	-124,971 円 92 銭

監査報告書

私達は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの
第三期営業年度の事業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本
等変動計算書及び個別注記表を監査しました結果、適法かつ適正で
あることを認めます。

令和1年5月23日

株式会社銚子スポーツタウン

監査役 島田重信

監査役 吉原正巳